

【病床数削減について】

医療法人社団 富田クリニック 第二富田クリニック

第二富田クリニック（以下、当院）は、一般病床18床の有床診療所です。また当院は手術室を持ち、透析シャントの造設や閉塞等の治療が可能です。

当院に入院されているのは、主に当院または富田クリニックにて透析をされている（する予定の）方になります。

当院は、透析シャント術後や病状急変時の受入れ、長期療養が必要な方や、レスパイト入院等、多様な役割を担っております。

また、当院では透析患者さんの終末期医療・看取りにも対応しており、患者さんやご家族が安心して最期の時間を過ごせる療養環境の提供にも努めています。

しかし病床稼働率は、約10パーセントで常態化し病床を持て余しており、入院患者さんのQOL向上のためのリハビリスペースや『憩いの場』となるデイルームへの転用等、減床後のスペースの有効活用を考えております。

減床後も当院が担う役割はかわらず、地域の医療ニーズに対応してまいります。

以上ご考慮のうえ、下記表1のとおり病床削減について承認いただきますようお願いいたします。

表1 病床の削減について

	一般病床
変更前	18床
変更後	8床